

I 平成 29 年度事業報告

1 概要

当財団は、福岡国際会議場、マリンメッセ福岡、福岡国際センターを運営・管理する法人として、福岡市及び公益財団法人福岡観光コンベンションビューローと連携して、長年にわたり、様々な国際会議や大規模な学術会議、展示会、世界的なスポーツ大会等の会場としてMICEの誘致・開催支援を行ってきた。

平成 29 年度においては、平成 25 年度に策定した中期経営計画（平成 26－30 年度）に基づき、また、マリンメッセ福岡及び福岡国際会議場については、第 3 期指定管理の事業計画に基づき、

- ①福岡市のMICE誘致における国際競争力の向上と地域経済の活性化への貢献、
- ②お客さまの視点に立った、ホスピタリティにあふれる質の高いサービスの提供、
- ③安全・安心で、すべての人が利用しやすい施設の提供、
- ④事業体としての安定・自立した経営、
- ⑤地域への率先した社会貢献活動の実施

の 5 つの運営方針の下、これまで培ってきた施設の運営管理ノウハウ等を活かし、利用率及び顧客満足度のさらなる向上に取り組んだ。

平成 29 年度の各施設の利用率の実績は、

・福岡国際会議場：65.2%（目標70.0%）

【※中・小会議室を除く、多目的ホール、メインホール、国際会議室の利用率は79.7%】

・マリンメッセ福岡：83.9%（目標 87.0%）

・福岡国際センター：90.4%（目標 86.0%）

となり、福岡国際会議場、マリンメッセ福岡については、3カ年平均の目標利用率には達していないが、総じて高い利用率を維持している。

平成 29 年度の各施設の入場者数の実績は、

・福岡国際会議場：423,256人

・マリンメッセ福岡：1,319,211人

・福岡国際センター：546,919人

となり、3施設合計で約229万人となり、前年度より、約3万人の増となった。

平成 29 年度の財務状況は、事業活動収支差額が12億654万円余の黒字、このうち、市からの施設整備に係る補助金7億8,073万円余を除いた、施設運営による実質的な収支差額は4億2,580万円余の黒字となった。

また、収支計画書の経営指標である事業活動収益率は58.9%（目標34.0%）を確保した。なお、市への寄付金は1億8,046万円となっている。

この黒字を原資に、将来の施設維持保全需要に備えるため、修繕等積立資産として積立てを行っており、同資産は3億1,952万円余の純増となった。

(参考)

	国際会議場	マリンメッセ福岡	国際センター
建設主体・所有	FCC (市に使用貸借)	市	FCC
建設費用負担	市 (FCC への補助)	市	市 (FCC への補助)
施設の性格	市の公の施設	市の公の施設	FCC の固有施設
管理運営	FCC (指定管理)	FCC (指定管理)	FCC

2 コンベンション施設の利用促進

(1) 誘致営業活動

ア 国際会議、学術会議等の誘致

九州大学をはじめ各大学への定期的な訪問営業により、学会等の情報収集に努めるとともに、キーパーソンである大学教授等へのアプローチを継続的に行い、国際会議、学術会議等の誘致に取り組んだ。

また、福岡市及び（公財）福岡観光コンベンションビューロー、「Meeting Place Fukuoka」と緊密に連携し、共同誘致活動等に取り組んだ。

新規の大型会議については、国際会議では、エレクトロニクス通信関係に関する、「OECC2019」、「International Conference on Magnet Technology(2019)」、IT関連の「Rubykaigi(2019)」、「アジア太平洋燃焼会議(2019)」などがあり、国内会議では、「全国産業安全衛生大会(2022)」、「日本癌治療学会学術集会(2024)」などがある。

イ 展示会・見本市の誘致

開催実績のある主催者に対して、定期的な営業活動を行うとともに、日本展示会協会など業界団体からの情報収集や他施設での開催状況の把握等を行い、3施設の特徴を活かした利用プランの提案を行うなど、新規催事の誘致に取り組んだ。

特に、福岡市のMICE戦略における重点分野（新産業／クリエイティブ産業／医療・医学／スポーツ／食）の展示会・見本市等の誘致に取り組んだ。

新規の大型展示会については、医療・介護に特化した「ケアテックス福岡(2018)」、「メガスーパーカーモーターショー(2019)」などがある。

ウ 興行系催事の誘致

開催実績のある催事の定着化を図るとともに、新規顧客の開拓に向けて、マリンメッセ福岡、福岡国際センターのアリーナ機能や多目的施設の特徴を活かしたコンサートなどの興行系催事や、スポーツ大会の主催者・関係団体等に対して、積極的な営業活動に取り組んだ。

大型催事の誘致実績として、「世界フィギュアスケート国別対抗戦(2019)」がある。

エ 福岡国際会議場の中・小会議室の利用促進

中・小会議室の利用促進を図るため、一般企業、各種団体等に対して、DMの発送等を行い、利用の促進に努めた。また、新規顧客の掘り起こしに向けて、試行的に会議室検索サイトへの掲出や、閑散時期のキャンペーン（8月）の実施などに取り組んだ。

オ 特別後援展示会への支援

地域産業の振興への効果等に鑑み「第13回福岡インターナショナル・ギフトショー／第6回福岡国際ビューティー・ショー」「福岡モーターショー2017」「全国陶磁器フェア in 福岡 2018」の特別後援を行った。

（2）広報宣伝

平成29年度は、施設情報を広く知らせることを目的として、全国版や地場の業界誌等に、広告掲載を行った。

- ◆平成29年度に広告掲載を行ったもの
- （全国業界誌等）
- ・見本市展示会通信（H30年1月）
 - ・見本市展示会総合ハンドブック（H29年12月）
 - ・展示会データベース2018年版（H29年6月）
 - ・日本物流新聞（H30年2月）
- （地場業界誌等）
- ・財界九州・ふくおか経済・商工会議所ニュース
 - ・日刊工業新聞社（H29年5月、10月）
 - ・オーシャンズフクオカ（H30年1月）

さらに、ホームページや、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用により、効率的かつ効果的なPRを実施した。

3 満足度の高い運営サービスの提供

（1）ワンストップサービスにおける対応力の向上

複数の施設を利用する利用者に対して総括担当者を配置するワンストップサービスの強化を図るため、新たに3施設を一本化した業務マニュアルを作成したほか、委託先スタッフを含む関係者によるバックアップ会議を設け、利用者の多種多様な要望に迅速かつ的確に対応する体制を整えた。

平成29年度は、福岡モーターショーをはじめ、サンパレスを含む4施設を同時利用する催事が合計6件開催され、特にワンストップサービスの効果が発揮された。

（2）複数催事の同時開催等における交通対策の強化

今夏からの第2期展示場等の整備着手を控え、多種多様な催事が同時開催された場合などにおける、コンベンションゾーン周辺の混雑・交通渋滞の緩和に向けて、利用者である主催者からの情報の収集・集約に努めるとともに、定期的な情報共有会議を設けて、交通対策の強化に努めた。

(3) 情報環境の充実

フェイスブックの効果的な活用により、来場促進を図る臨場感・話題性のある催事PR、意外性や親しみを感じさせる施設情報、現在の道路渋滞情報や駐車場情報、周辺施設やレストランなど来場者の利便性を高める関連情報などの発信に努めた。

平成29年度の実績は、情報発信件数で、福岡国際会議場147件、マリンメッセ福岡104件、福岡国際センター119件で合計370件、アクセス数は、合計129,882件となった。

(4) 快適な利用環境の提供

利用者や来場者へのアンケートなどによって得られたお客様の声を参考に、利便性に配慮した設備・備品の整備に取り組んだ。

主な整備内容は、次のとおりである。

国際会議場	マリンメッセ福岡
○ワイド画面对応プロジェクターの導入 ○国際会議室における同時通訳装置のデジタル化（6か国語対応）	○熱中症対策としてウォーターミストの設置と飲料自販機の増設

(5) 大相撲九州場所への協力

大相撲九州場所（11月開催）に対して、サンパレス円棟壁面への大型告知看板の設置、天神ライオン広場での現役力士や親方衆による握手会の開催支援、カレンダー配布などの広報支援などを行い、同場所の周知と来場促進に協力した。

また、新たに実施された福岡市との連携による「子ども観戦招待事業」に協力し、招待者は140組285人となり、大相撲の将来の顧客拡大にもつながるとして評価を得た。

なお、平成29年大相撲九州場所は、21年ぶりに15日間「満員御礼」を記録する場所となった。

(6) 安全・安心の施設サービスの提供

3施設において、火災及び地震を想定した避難・消火活動等の防火・防災訓練を各施設2回ずつ実施し、財団職員、防災センター等（委託）及び主催者の三者からなる防災体制の強化を図った。

このうち国際会議場においては、近隣の専門学校の生徒約700名を交えた合同訓練を実施し、また、消防・警察との綿密な連携の下、避難活動や防火・防犯講習など大規模な防火・防災・防犯訓練を実施した。

さらに、防災管理者等の資格取得や、自衛消防業務講習の受講などにより、職員の防災知識・技術の向上を図った。

4 コンベンション施設の保守管理・改修事業

経年に伴う老朽化に適切に対応して、施設の維持管理と安全性の確保を図るとともに、利用者に快適で利便性の高い施設を提供できるよう、各施設の保守管理、改修等を行った。

保守管理については、施設・機器等の専門の委託業者等による日常・定期点検の的確な履行、実施内容の確認を徹底し、予防保全に努めた。

また、改修等については、長期保全計画に基づき計画的に実施した。

(1) 福岡国際会議場

平成 27 年度に見直した「福岡国際会議場中長期保全計画(平成 22 年度策定)」に基づき、財団において修繕等を実施した。

主な修繕内容は、省エネ対策として行ったロビー照明のLED取替えなど次のとおりである。

財団が実施した修繕	
○1階、4階ロビー照明取替(LED) ○同時通訳設備更新 (多目的ホールほか)	○502～505会議室内裝修繕 ○4階ロビー空調機熱交換コイル取替

(2) マリンメッセ福岡

平成 19 年度に福岡市と共同で策定した「マリンメッセ福岡長期修繕計画」に基づき、改修等については福岡市が行い、緊急修繕等については、必要に応じて財団で実施した。

主な修繕内容は、次のとおりである。

財団が実施した修繕	(参考) 福岡市が実施した改修
○受変電設備部品交換 ○屋外掲示板修理 ○内部扉塗装	○電動ロールスクリーン巻取装置部品取替(西側南面) ○サブアリーナ特殊音響設備更新 ○舞台機構(舞台吊物機構)更新 ○雨水処理ろ過器更新

(3) 福岡国際センター

平成 27 年度に見直した「福岡国際センター中長期保全計画(平成 23 年度策定)」に基づき、財団において修繕等を実施した。

主な修繕内容は、正面広場の有効利用や、一人一花運動と連携した取組みである緑地再整備など次のとおりである。

財団が実施した修繕	
○緑地再整備(正面広場) ○電話交換機更新	○吸収式冷温水機機密部分分解修理 ○管理控室他照明取替(LED)

5 各施設の利用状況

① 福岡国際会議場

利用率は、対前年度比で 3.0%の減、65.2%で目標とする 70%に届かなかったが、国際会議室、メイン・多目的ホールの利用は平均で 79.7%の高い利用率となった。

利用件数については、国際会議及び国内学会等の開催件数は 47 件と過去 3 年で最も多く開催されたが、全体の催事件数は 818 件で、前年度より 132 件減少した。利用件数減少の主な要因としては、近年博多駅・天神地区周辺で貸し会議室が増加していることなどがあるものと見られる。

- ・利用件数：818 件 ・利用室数：5,241 室 ・入場者数：423,256 人
- ・利用率(室数)：65.2% (※多目的ホール・メインホール・国際会議室の平均 79.7%)
※利用率(室数)は、利用室数(5,241 室)／利用可能室数(8,040 室=335 日×会議場全 24 室)
- ・利用率(日数)：95.2%
※利用率(日数)は、利用日数(319 日)／利用可能日数(335 日)

○利用状況

区 分	利用件数	入場者数	区 分	利用室数	利用可能室数	利用率
国際会議	25 件	113,713 人	多目的ホール	1,100 室	1,340 室	82.1%
国内学術会議	22 件	34,499 人	メインホール	250 室	335 室	74.6%
国内一般会議等	649 件	172,953 人	国際会議室	253 室	335 室	75.5%
展示会	77 件	58,813 人	中・小会議室	3,638 室	6,030 室	60.3%
コンサート・興行	45 件	43,278 人				
合 計	818 件	423,256 人	合 計	5,241 室	8,040 室	65.2%

○主な催事

名 称	開催期間	入場者数
第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会	4月20日～23日	6,093 人
第 60 回日本春季日本歯周病学会学術大会	5月11日～13日	2,850 人
第 34 回日本呼吸器外科学会	5月18日～19日	2,140 人
第 9 回日本下肢救済・足病学会 2017	5月26日～27日	1,483 人
第 65 回全国ろうあ者大会・国際大会	6月1日～3日	4,145 人
第 25 回日本乳癌学会学術総会	7月13日～15日	6,089 人
第 33 回日本義肢装具学会学術大会	7月22日～23日	1,177 人
第 78 回応用物理学会秋季学術講演会	9月5日～8日	6,156 人
第 22 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会	9月16日～17日	4,900 人
JDDW2017 (第 25 回日本消化器関連学会週間)	10月12日～14日	19,946 人
第 41 回日本血液事業学会総会	10月31日～11月2日	1,011 人
福岡モーターショー2017	12月15日～18日	10,649 人
第 43 回日本脳卒中学会(S T R O K E 2018)	30年3月15日～18日	6,500 人

② マリンメッセ福岡

利用率は、対前年度比で 3.9%の減、83.9%で目標とする 87%には届かなかった。催事については、3施設の利用で、福岡モーターショー2017 が開催され、約 89,000 人の来場者があった。

利用状況については、コンサート・興行が全体の半数強を、展示会が 3 分の 1 強を占めている。利用率が対前年度比で減となった要因としては、28 年度は、ライオンズクラブ国際大会や全国郵便局長会通常総会など、単発的な大型・長期利用の催事が開催されたのに対して、29 年度はこうした催事が少なかったことなどが挙げられる。展示会については、重点分野（医療・医学・モビリティ・食など）の平日での学術会議の機器展示や企業個展、週末での展示即売会等の利用、また、コンサート系については、夏・春休み期間の利用促進や空白期（お盆・年末年始）を含めた利用の促進を行った。

- ・ 利用件数：94 件 ・ 利用日数：281 日 ・ 入場者数：1,319,211 人
- ・ 利用率(日数)：83.9%

※利用率(日数)は、利用日数(281日) / 利用可能日数(335日)

※利用可能日数は、1年(365日) - 休館日等(30日：年末年始の6日+月2日程度の法定点検や工事、修繕等)

○利用状況

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用割合	
				日 数	入場者数
展 示 会	34 件	114 日	386,754 人	40.6%	29.3%
会 議 ・ 集 会	8 件	19 日	79,350 人	6.8%	6.0%
アマチュアスポーツ	1 件	11 日	150,275 人	3.9%	11.4%
コンサート・興行	51 件	137 日	702,832 人	48.7%	53.3%
合 計	94 件	281 日	1,319,211 人	100.0%	100.0%

○主な催事

名 称	開催期間	入場者数
第 27 回西日本食品産業創造展' 17	5月17日～19日	20,239人
第 13 回福岡インターナショナル・ギフト・ショー 第 6 回福岡国際ビューティ・ショー2017	6月1日～3日	29,400人
平成29年度金鷲旗・玉竜旗高校柔剣道大会	7月21日～29日	150,275人
JDDW2017 (第 25 回日本消化器関連学会週間)	10月12日～14日	19,946人
FOOD STYLE 2017	11月7日～9日	12,053人
福岡キャンピングカー&アウトドアショー2017	11月11日～12日	12,369人
福岡モーターショー2017	12月15日～18日	89,186人
平成29年度 福岡市成人の日記念行事	1月8日	9,000人
第70回済生会学会 平成29年度済生会総会	30年2月18日	2,600人
全国陶磁器フェア in福岡2018	30年3月21日～25日	40,733人

③ 福岡国際センター

利用率は、対前年度比で2.1%の減、90.4%で目標とする86%を達成した。

大規模な「第61回日本リウマチ学会総会・学術集会」・「第78回応用物理学会秋季学術講演会」や「第25回日本消化器関連学会週間」、また隔年開催の「福岡モーターショー2017」の開催などにより、高い利用率が保たれた。

・利用件数：95件	・利用日数：303日	・入場者数：546,919人
・利用率(日数)：90.4%		
※利用率(日数)は、利用日数(303日) / 利用可能日数(335日)		

○利用状況

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用割合	
				日 数	入場者数
展 示 会	50件	174日	257,478人	57.4%	47.1%
会 議 ・ 集 会	12件	33日	62,667人	10.9%	11.5%
大 相 撲	1件	36日	104,745人	11.9%	19.1%
アマチュアスポーツ	9件	18日	31,256人	5.9%	5.7%
コンサート・興行	23件	42日	90,773人	13.9%	16.6%
合 計	95件	303日	546,919人	100.0%	100.0%

○主な催事

名 称	開催期間	入場者数
平成29年全日本選抜柔道体重別選手権大会	4月1日～2日	6,315人
第56回福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり」前夜祭	5月2日	5,300人
2017九州印刷情報産業展	5月26日～28日	9,132人
第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	4月20日～22日	6,093人
第65回全国ろうあ者大会・国際大会	6月3日～4日	4,145人
平成29年度全国中学校体育大会 第48回全国中学校柔道大会	8月21日～25日	9,000人
第78回応用物理学会秋季学術講演会	9月5日～8日	6,156人
JDDW2017 (第25回日本消化器関連学会週間)	10月12日～14日	19,946人
大相撲 十一月場所	11月12日～26日	104,745人
福岡モーターショー2017	12月15日～18日	33,278人
第43回日本脳卒中学会(STROKE2018)	30年3月15日～17日	6,500人
福岡アジアコレクション2018	30年3月25日	7,500人

6 利用状況及び事業収入の推移

ア 利用状況の推移

(ア) 福岡国際会議場

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用件数	1,131 件	1,078 件	980 件	950 件	818 件
入場者数 (前年度比)	453,140 人 (122.3%)	391,551 人 (86.4%)	451,660 人 (115.3%)	434,032 人 (96.1%)	423,256 人 (97.5%)
利用延室数(a)	5,280 室	5,709 室	5,397 室	5,503 室	5,241 室
利用可能延室数(b)	8,040 室	8,040 室	8,064 室	8,040 室	8,040 室
利用率(a)／(b)	65.7 %	71.0 %	66.9 %	68.4 %	65.2 %
利用率(国際会議室・メ インホール・多目的ホール)	77.5 %	81.0 %	75.6 %	81.1 %	79.7 %
利用率(中・小会議室)	61.7 %	67.7 %	64.0 %	64.2 %	60.3 %

※室数で算出(国際会議室1室,メインホール1室,多目的ホール4室,中・小会議室18室)

(イ) マリンメッセ福岡

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用件数	87 件	94 件	98 件	96 件	94 件
入場者数 (前年度比)	1,257,131 人 (116.1%)	1,207,660 人 (96.1%)	1,266,893 人 (104.9%)	1,363,450 人 (107.6%)	1,319,211 人 (96.7%)
利用日数(a)	303 日	288 日	291 日	294 日	281 日
利用可能日数(b)	335 日	335 日	336 日	335 日	335 日
利用率(a)／(b)	90.4 %	86.0 %	86.6 %	87.8 %	83.9 %

(ウ) 福岡国際センター

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用件数	91 件	97 件	88 件	100 件	95 件
入場者数 (前年度比)	489,736 人 (111.2%)	487,112 人 (99.4%)	476,825 人 (97.8%)	458,768 人 (96.2%)	546,919 人 (119.2%)
利用日数(a)	287 日	292 日	274 日	310 日	303 日
利用可能日数(b)	335 日	335 日	336 日	335 日	335 日
利用率(a)／(b)	85.7 %	87.2 %	81.5 %	92.5 %	90.4 %

(エ) 3施設合計

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用件数	1,309 件	1,269 件	1,166 件	1,146 件	1,007 件
入場者数 (前年度比)	2,200,007 人 (116.2%)	2,086,323 人 (94.8%)	2,195,378 人 (105.2%)	2,256,250 人 (102.8%)	2,289,386 人 (101.5%)

イ 事業収入の推移

(ア) 福岡国際会議場

(単位:千円, %)

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
コンベンション事業	444,329	513,191	476,158	503,688	486,527
レストラン等事業	24,919	28,217	27,769	28,036	30,197
駐車場事業	53,981	53,609	54,407	55,936	52,430
計	523,229	595,017	558,334	587,660	569,154
25 年度を 100 とした割合	100.0	113.7	106.7	112.3	108.8

(イ) マリンメッセ福岡

(単位:千円, %)

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
コンベンション事業	984,773	1,017,342	972,001	1,069,600	978,748
レストラン等事業	22,126	25,325	26,010	29,109	27,846
駐車場事業	83,691	78,429	82,499	84,456	82,171
受託事業	-	-	-	-	-
計	1,090,590	1,121,096	1,080,510	1,183,165	1,088,765
25 年度を 100 とした割合	100.0	102.8	99.1	108.5	99.8

(ウ) 福岡国際センター

(単位:千円, %)

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
コンベンション事業	316,110	339,032	317,312	353,410	356,467
レストラン等事業	4,905	5,145	5,065	10,351	11,761
駐車場事業	4,226	1,983	2,342	2,830	2,120
計	325,241	346,160	324,719	366,591	370,348
25 年度を 100 とした割合	100.0	106.4	99.8	112.7	113.9

(エ) 3施設合計

(単位:千円, %)

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
コンベンション事業	1,745,212	1,869,565	1,765,471	1,926,698	1,821,742
レストラン等事業	51,950	58,687	58,844	67,496	69,804
駐車場事業	141,898	134,021	139,248	143,222	136,721
受託事業	-	-	-	-	-
計	1,939,060	2,062,273	1,963,563	2,137,416	2,028,267
25 年度を 100 とした割合	100.0	106.4	101.3	110.2	104.6

II 平成29年度理事会議決事項

区 分	内 容
平成29年度第1回理事会 期日 平成29年4月20日 理事会の決議の省略による書面決議	議案 理事の推薦について
平成29年度第2回理事会 期日 平成29年5月2日 理事会の決議の省略による書面決議	議案 評議員の推薦について
平成29年度第3回理事会 期日 平成29年5月30日 場所 福岡国際会議場	議案第1号 平成28年度事業報告及び決算について 議案第2号 公益目的支出計画実施報告書について 議案第3号 平成29年度補正予算(案)について 議案第4号 評議員会の開催について
平成29年度第4回理事会 期日 平成29年6月14日 理事会の決議の省略による書面決議	議案 理事の任期満了に伴う次期選任候補者の推薦について 議案 評議員の任期満了に伴う次期選任候補者の推薦について
平成29年度第5回理事会 期日 平成29年6月19日 理事会の決議の省略による書面決議	議案 代表理事(理事長)の選定について
平成29年度第6回理事会 期日 平成29年6月29日 理事会の決議の省略による書面決議	議案 理事の推薦について
平成29年度第7回理事会 期日 平成29年7月1日 理事会の決議の省略による書面決議	議案 代表理事(専務理事)の選定について
平成29年度第8回理事会 期日 平成30年3月30日 場所 福岡国際会議場	議案第1号 平成29年度補正予算(案)について 議案第2号 平成30年度事業計画(案)について 議案第3号 平成30年度予算(案)について 議案第4号 理事の選任について